

# 2023年度第1回理事会報告

開催日時:2023年5月27日(土) 18:00~20:10

開催場所:国際文献社パブリッシングセンター8階会議室

## I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長より挨拶があった。

## II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2023年度第1回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

## III. 審議事項

### 第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より、回覧資料に基づき説明があった。審議の結果、56名全員の入会が満場一致で承認された。

### 第2号議案 長期会員審査および申請条件の変更について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。審議の結果、申請者47名を長期会員とすることが満場一致で承認された。また、会員歴の基準を明確にするため、次年度より申請条件を下記の通りに変更する案が承認された。

-----  
【現行】本学会に所属している期間が通算25年以上であること

↓

【修正】次の4月1日時点で本学会に所属している期間が通算25年以上であること  
-----

### 第3号議案 2023年度予算案の変更について

財務担当室田理事より、2022年度第6回理事会で承認された2023年度予算案からの変更点について、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、2023年度予算案の変更が満場一致で承認された。

### 第4号議案 2022年度事業報告、決算報告および監査報告(理事会ML審議済)

総務担当木下理事より、2022年度の各事業が滞りなく遂行された旨の報告があり、財務担当室田理事より法人全体および各事業における2022年度決算について詳細な報告があった。また、大

島監事ならびに岡部監事より4月28日に実施された監査について報告があった。

審議の結果、2022年度事業報告、決算報告および監査報告を2023年度定時社員総会に上程することが満場一致で承認された。

#### 第5号議案 秋季大会開催ローテーションについて

空閑会長より配付資料に基づき説明があった。審議の結果、秋季大会の担当地域ローテーション案の変更について満場一致で承認された。2023年度定時社員総会に上程する予定である。

#### 第6号議案 今後の春季大会会場について

研究担当伊藤理事より今後の春季大会の開催会場について説明があった。審議の結果、当面は現状のままとし、今後、春季大会にかかる適切な費用等も含めて検討することが満場一致で承認された。

#### 第7号議案 名誉会員の地域ブロックの大会参加費について

空閑会長より配付資料に基づき説明があった。審議の結果、本理事会で決議する前にまずは各地域ブロックで検討し、その結果を踏まえて次回以降の理事会であらためて審議することとなった。

なお、一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程の変更は総会での議決を経る必要があることを確認した。

#### 第8号議案 『社会福祉学』J-Stage閲覧のための認証パスワードの設定について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。審議の結果、刊行から1年以内の機関誌『社会福祉学』に、J-Stageで閲覧するための会員共通の購読者番号並びにパスワードを設定し、非会員の閲覧を制限する方針を継続する案が、満場一致で承認された。

#### 第9号議案 監訳の廃止と翻訳謝金の見直しについて(謝金支払い内規より)

総務担当木下理事より翻訳謝金の金額設定の見直しおよび監訳者の廃止について配付資料に基づき説明があった。審議した結果、まずは翻訳体制を整えることを優先して謝金の金額設定の見直しは見送ること、監訳者を廃止して「一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規」を改正することが満場一致で承認された。

#### 第10号議案 学会のあり方検討会について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。本検討会での検討内容は、各委員会を横断するような企画、提案となることから、会長直属の部会として位置づけることが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

#### 第11号議案 GEAHSSの副幹事学会・幹事学会を務めるための役員選出について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。本会がGEAHSSの第8期(2024年10月~2025年9月)の副幹事学会となる予定である。審議の結果、研究支援委員会担当理事ともう一

名の理事を本会から派遣する方針を次期体制に申し送ることが満場一致で承認された。

## 第12号議案 その他(フォーラム・特定資産の今後の検討スケジュール／選挙について等)

### ・フォーラム・特定資産の今後の検討スケジュールについて

総務担当木下理事より、2020年度から2024年度までの中期予算執行方針について、あらかじめ配付資料に基づき説明があった。本方針も後半に差し掛かったことから、今後の構想について協議をしていくことが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

### ・選挙について

総務担当木下理事より、今年度を実施される代議員選挙および役員候補者選挙について説明があり、次回理事会にて代議員選挙管理委員会の設置および委員の委嘱について審議予定であることを確認した。第71回秋季大会の会期と選挙の準備期間が重なるため、投票期間を前後して調整することが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

## **IV. 報告事項**

### 1. 2023年度会員動向および2022年度退会者報告

総務担当木下理事より、2022年度年会費の納入結果について配付資料に基づき報告があった。また、2022年度に退会した会員の名簿および2015年度以降の会員数の推移を確認した。

### 2. 2023年度定時社員総会準備状況および当日の進行について

総務担当木下理事より、総会当日の進行について配付資料に基づき説明があった。

### 3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

### 4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坏理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。

### 5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第71回秋季大会にて開催される国際学術シンポジウムおよび留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況について報告があった。2023年度は日中韓三か国の国際学術交流において日本が幹事国となる予定である。

### 6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、5月21日に開催された第2回学会賞審査委員会にて、二

次審査対象図書および論文の選定を行ったとの報告があった。

#### 7. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

#### 8. 広報委員会からの報告

第9号議案にて審議済みである。

#### 9. アーカイブ化推進委員会からの報告

前回理事会以降の報告事項は特になし。

#### 10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、第71回秋季大会で実施予定のスタートアップ・シンポジウムの準備状況について報告があった。また、第3回CS-NETサロンは8月頃の開催を予定している。4月3日よりCS-NETのメーリングリストの運用を開始し、現時点で40名が参加している。

2022年度に実施した初期キャリア研究者に対するニーズ調査の報告書が完成したため、本理事会で内容を確認のうえ、学会ホームページへの掲載を予定している。

#### 11. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・東北地域ブロック：第22回大会を2023年7月23日に福島県の医療創生大学で開催予定である。岩手県から選出された幹事の交代を予定している。後日理事会で報告を行う。
- ・関東地域ブロック：3月19日（日）に2022年度年次大会をオンライン開催した。参加者からのアンケート結果を今年度以降の年次大会の検討材料とする予定である。
- ・中部地域ブロック：4月22日（土）に2023年度春の研究例会を対面で開催した。午前自由研究発表、大学院生・若手研究者のための勉強会および2023年度総会、午後からシンポジウムを開催し、盛会に終わったとの報告があった。『中部社会福祉学研究』第14号を刊行し、学会ホームページに掲載済みである。また、幹事会の構成員および幹事会会計担当者の報告があった。
- ・関西地域ブロック：若手研究者・院生情報交換会を年3回開催する予定で企画および準備を進めている。2023年度年次大会は2024年2月または3月に桃山学院大学での開催を予定している。『関西社会福祉研究』第9号を3月末に発刊した。
- ・中国四国地域ブロック：7月8日（土）に第54回島根大会および総会を島根大学松江キャンパスにて開催予定である。6月2日に委員会を開催する。
- ・九州地域ブロック：7月8日（土）-9日（日）に筑紫女学園大学にて研究大会を開催予定である。一日目はオンラインでシンポジウムを開催し、二日目は対面で自由研究発表および総会を開催する予定である。

## 12. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

### ・後援(協賛)依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

### ・関連団体からの報告

#### 1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、総会を6月5日(月)にオンライン開催をするとの報告があった。研究支援委員会による初期キャリアにある研究者のニーズ調査報告書を踏まえて、日本社会福祉系学会連合で調査を実施する予定である。

#### 2) ソーシャルケアサービス研究協議会

高良理事より3月26日に全体会が開催され、団体としての今後のあり方や方向性、政治との関わり方等について検討したとの報告があった。

#### 3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、3月25日(土)にシンポジウム「社会政策としての住宅政策と居住福祉に関わる実践の関わりを問う—英・独・日の歴史から」が盛会に終わったとの報告があった。

#### 4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、シンポジウムの開催を企画、検討しているとの報告があった。確定次第、周知予定である。

#### 5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

第11号議案にて審議済みである。

#### 6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

#### 7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、社会福祉系の学会と日本ソーシャルワーク教育学校連盟との連携をより一層深めるため、今後は本会の会長ではなく、日本社会福祉系学会連合から日本ソーシャルワーク教育学校連盟の理事を推薦することが承認されたとの報告があった。正式には6月3日に開催される日本ソーシャルワーク教育学校連盟の総会にて決定される予定である。

議長は、議事終了を告げ、20時10分に理事会を解散した。

以上